

平成27年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	フリースペースあかね (担当者 中山 遼)			
	合同実施団体 (* 協議体・実行委員会等で実施した場合、構成団体をすべて記載してください。)				
協働した岡山市の担当課等と担当者	課名	岡山市教育委員会事務局指導課		電話	086-803-1592
	担当者 2名	職名	教育支援室室長	職名	指導副主査
		氏名	服部 道明	氏名	永井 正博
	課名	岡山っ子育て局地域子育て支援課		電話	086-803-1609
担当者 2名	職名	次世代育成室 室長補佐	職名		
	氏名	溝手 得三郎	氏名		
事業の名称	困難を抱える青少年のための『ぷらっとホーム事業』				
本事業により解決を目指した課題とその成果 ※アンケートなどあれば添付してください。	<p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 年齢や心理的問題によって、行政の支援サービスを受けられない子ども・若者が多くいるという課題。 2. ①のような子ども・若者が学習の機会を得られず、社会的ハンディキャップを抱えやすいという課題 3. 働きたい気持ちを持っているのにも関わらず、不安や生活習慣の乱れなどから、バイトやハローワークに行くことが困難な若者達への前段階の就労支援が少ないという課題。 <p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 居場所事業では、小中学生はもちろん高校年齢以上の若者に多く利用してもらうことができた(詳細は参考資料を参照) <ul style="list-style-type: none"> ・ 月平均利用人数は31.4人 ・ 利用者の内、本事業を利用するまで無支援状態(支援機関に通ったことがない、または3年間は支援機関に通っていない)だった人数は30人(小学生5名、中学生10名、高校生7名、若者8名)であり、多くの無支援者を支援に繋げることができた。 ・ なんらかの形で社会復帰を果たした利用者は6名(進学2名、就職4名)であった。 2. 学習支援事業では、希望者にマンツーマンで行う個別の学習支援を行い、学習への意欲が高まった小・中学生などが自主的に勉強会を開催するなど、学習意欲の向上が伺えた。利用回数は38回。 3. 就労支援事業では、就労体験とキャリアデザインワークショップの2つのプログラムを実施することができた。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 就労体験には2名の利用があり、農作業を通じて就労体験をしてもらった。うち1名は4月に就職を果たし、もう1名は就労移行支援センターの入所へと繋がった。 ・ キャリアデザインワークショップでは11月から毎月1回、計5回のワークショップを実施することができた。のべ回数36回の利用があり、内1名が就労移行支援センターの入所に繋がり、その後就職が決定。 4. 訪問相談事業では、合計75回の利用があり昨年度モデル事業での訪問相談回数41回を大幅に上回る結果となった。利用者数は14名(小学生2名、中学生1名、高校生3名、保護者7名)また利用者のうち、無支援状態(支援機関に通ったことがない、または3年間は支援機関に通っていない)だったものは5名(小学生1名、中学生1名、高校生2名、保護者1名)であった。 				

<p>市と協働した内容と協働の効果</p>	<p>1. 団体が果たした役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 居場所の運営・管理と、利用者に対する相談援助 ② 居場所に来ることが困難な利用者を対象に訪問相談員を派遣 ③ 学習を希望する利用者に対する学習支援 ④ ひきこもりの若者に対して、農家と連携して行う就労体験や、はたらくについて学び考えるワークショップの実施 <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割</p> <p>適応指導教室などを訪れた相談者や、適応指導教室に通えない事情（中学卒業年齢に達した・心理的問題など）を抱えた相談者に、居場所を紹介する。公的支援からこぼれている可能性のある子や若者の情報を当団体に提供する。</p> <p>3. 協働した効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市教育委員会の適応指導教室の案内に、連携民間施設として当団体の記載 ② 市教委と当事業双方で支援を行なっている児童生徒に関する情報共有やケース会議の実施
<p>事業の内容</p>	<p>1. 居場所事業</p> <p>基本的に、平日に居場所を開放し、相談を受けたり、当事者同士の交流を促進する。また、料理・ゲーム・若者限定の集まりなどの各種イベントを適宜行う。</p> <p>2. 訪問相談事業</p> <p>なんらかの事情で、居場所にも来れない子ども・若者・保護者を対象に、スタッフが訪問を行い、相談を受けたり、状況に応じ居場所などへの参加を促す。</p> <p>3. 学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 居場所事業の前後の時間を使い、個別で授業や自習の手助けを行う。 ② 学習を希望する利用者たちに対して、自習会を開催 <p>4. 就労支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ③ 引きこもりを経験した若年層に対し、野菜類苗定植作業、収穫作業、一部の野菜の管理作業などの農作業を体験してもらい、社会復帰を目指す過程で必要な自立や自信の獲得を援助する。 ④ 引きこもりを経験した若年層に対し、就労移行支援センターの講師を招いて、はたらくについて皆で意見を出し合いながら考えるキャリアデザインワークショップの実施
<p>事業実施の体制・実施者名</p>	<p>1. 総括責任者 中山 遼</p> <p>2. 個別事業責任者 原 悠太・佐藤 匡</p> <p>3. その他事業従事者 役割・氏名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 氏名 大森 博史氏 (特定非営利活動法人 杜の家) 役割 障害を持つ利用者に対するアドバイス ・ 氏名 大橋 佳奈氏 (就労移行支援センターフリーデザイン岡山) 役割 就労支援キャリアデザインワークショップのプログラム作成と講師

事業実施経過	実施事業内容	
	H27年5月	居場所事業・電話相談・訪問相談 開始
		第1回 担当課との定例連絡会(5月26日) 各事業中に集積の必要なデータの洗い出しと、その収集方法などについて
		学習・就労支援実施に向けての具体的なプログラム作り、及び告知
	6月	学習・就労支援 開始
	7月	第2回 担当課との定例連絡会(7月14日) 現在の事業の進捗報告・発達障害のある子への関わり・事業の広報などについて
	8月	学習支援「勉強会」開催
	10月	第3回 担当課との定例連絡会・中間評価(10月19日) 事業の中間評価・集積データ(アンケート)・就労支援に関する事業の追加
	11月	キャリアデザインワークショップ 第1講『私の支えモノ・コト』実施
	12月	キャリアデザインワークショップ 第2講『私の暮らす街・シゴト』実施
	H28年1月	第4回 担当課との定例連絡会(1月19日)
		キャリアデザインワークショップ 第3講『私のはたらき方がし』実施
	2月	キャリアデザインワークショップ 第4講『私の暮らし方でざいん』実施
	3月	キャリアデザインワークショップ 第5講『10年度の自分を描こう』実施
事業全体のまとめ、報告		
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割
	佐藤農産 Goodleaf	就労支援の委託
	就労移行支援センターフリーデザイン岡山	キャリアデザインワークショップのプログラム作成と講師
	特定非営利活動法人 杜の家	障害を持つ利用者に関するアドバイザー
本事業を踏まえた、翌年度以後の予定	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (平成29年度予算に向けて協議続行)	
	具体的計画があれば記載してください。 モデル事業内で行ってきた、定例連絡会を本モデル事業終了後も継続し、平成29年度に補助事業または適応指導教室委託事業を実現させることを念頭に協議していく予定。	

平成27年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	困難を抱える青少年のための『ぷらっとホーム事業』
-----	--------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	600	
	その他	0	
自己資金等合計(a)		600	
事業収入	居場所事業	481,700	5月分…23,700円 6月分…54,500円 7月分…25,000円 8月分…22,000円 9月分…55,100円 10月分…37,000円 11月分…58,300円 12月分…48,900円 1月分…45,900円 2月分…55,900円 3月分…55,400円
	訪問相談	53,500	5月分…8,500円 6月分…6,000円 7月分…0円 8月分…9,500円 9月分…5,500円 10月分…7,000円 11月分…3,000円 12月分…5,500円 1月分…1,500円 2月分…3,000円 3月分…4,000円
	学習支援	24,500	5月分…0円 6月分…1,000円 7月分…0円 8月分…1,000円 9月分…2,000円 10月分…4,000円 11月分…3,500円 12月分…6,000円 1月分…3,000円 2月分…4,000円 3月分…3,000円
事業収入合計(b)		559,700	
岡山市補助金決定額(d)		1918000	
収入合計(e) = (a)+(b)+(c)+(d)		2,478,300	

<支出>

費目	金額	内訳	証拠書類番号
----	----	----	--------

事業実施経費	居場所 人件費	1,879,500	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山遼 (1500円×157回=235,500円) ・ 原悠太 (1500円×152回=228,000円) ・ 佐藤嘉子 (1500円×130回=195,000円) ・ 徳方宏治 (1500円×92回=138,000円) ・ 徳方和子 (1500円×12回=18,000円) ・ 富山郁子 (1500円×68回=102,000円) ・ 桑原玲子 (1500円×70回=105,000円) ・ 中田知子 (1500円×50回=75,000円) ・ 羽澤真理子 (1500円×79回=118,500円) ・ 平井ひろ子 (1500円×49回=73,500円) ・ 石川由美子 (1500円×41回=61,500円) ・ 大月玉枝 (1500円×84回=126,000円) ・ 中山宏子 (1500円×25回=37,500円) ・ 田村嘉子 (1500円×17回=25,500円) ・ 岡嶋北斗 (1500円×63回=94,500円) ・ 野上咲希 (1500円×48回=72,000円) ・ 角脇里美 (1500円×39回=58,500円) ・ 柴田剛 (1500円×19回=28,500円) ・ 河原希実佳 (1500円×20回=30,000円) ・ 近藤加奈 (1500円×17回=25,500円) ・ 尾木篤志 (1500円×21回=31,500円) 合計=1,879,500円	①
	訪問相談 人件費	225,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中山遼 (3000円×51回=153,000円) ・ 中山宏子 (3000円×24回=72,000円) 合計=225,000円	②
	学習支援 人件費	152,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原悠太 (2,000円×54回=108,000円) ・ 黒宮節子 (2,000円×22回=44,000円) 合計=152,000円	③
	就労支援 委託料	18,000	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労体験 (農業) 3,000円×1回=3,000円…1 ・ キャリアデザインワークショップ 第1回=3,000円…2 第2回=3,000円…3 第3回=3,000円…4 第4回=3,000円…5 第5回=3,000円…6 合計=18,000円	④-1~6
	就労支援 保険料	500	500円×1回=500円 合計=500円	⑤
事業実施経費合計(f)		2,275,000		
管理運営経費	通信費	93,259	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話相談 (NTT) 合計 =42,175円 ・ インターネット料金 (Oni ネット) =51,084円 合計=92,151円 (証拠番号及び内訳は別紙参照)	⑥-1~21
	事務費	41,066	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー代 =8,666円 ・ 輪転機リース =32,400円 合計=41,066円 (証拠番号及び内訳は別紙参照)	⑦-1~21
	印刷製本費	25,098	<ul style="list-style-type: none"> ・ リーフレット=7,830円 ・ 就労支援チラシ=5,140円 ・ 学習チラシ・リーフ増刷=12,128円 合計=25,098円 (証拠番号及び内訳は別紙参照)	⑧-1~4
	消耗品費	43,877	<ul style="list-style-type: none"> 学習備品・就労体験 (農業) 備品 合計=103,190円 (証拠番号及び内訳は別紙参照)	⑨-1~18
管理運営費合計(g)		203,300		
総事業費(h) = (f)+(g)		2,478,300		